

ゆめ山コンサートがあったよ



今日、ゆめ山コンサートがありました。

はじめに、しいたけきんをうえました。ぼくは、ちよつと小さい木をえらんで、きんを20こから25こぐらいうえました。きんは、しいたけと形がぜんぜんちがうことがわかりました。

つぎは、やつとゆめ山コンサートです。テーブルレビのカメラマンが来ていました。ぼくは、ドキッとしました。「ほたるこい」はまちがえなかつたので、これでだいじょうぶ、このちようしでいこうと思いました。「かごめかごめ」はちよつとまちがえたけど、新曲の「おちやらかほい」はうまくできました。

さい後に、もちつきをしました。ぼくは、2、3回つきました。おもちをさわるとネバネバしていて、こなを手にとくさんつけたら、ネバネバがとれました。そして、おもちを4ことんじるを3ばい食べました。とてもおいしくて、天国にいるみたいでした。また、ゆめ山コンサートをひらけるといいなと思いました。

# わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します

—連載第5回—

沼田西の宝「エヒメアヤメ」

みなさん、エヒメアヤメを知っていますか。エヒメアヤメは、三原では沼田西にだけさいているむらさき色のとても小さな美しい花です。国の天然記念物にも指定されています。では、なぜ、エヒメアヤメとよばれるようになったのでしょうか。

それは、一八九七年に愛媛県で最初に発見されたので、その地名にちなんでエヒメアヤメとよばれるようになったそうです。

でも、今環境のえいきようで、エヒメアヤメはへってきています。だんだん環境がこわされるにつれて、エヒメアヤメが育たなくなってきたのです。

では、どうすればエヒメアヤメを守ることができるのでしょうか。



「エヒメアヤメ保存会」の谷口会長さんにお話を聞きました。保存会では、エヒメアヤメを守るために、今、里山づくりに取り組んでいるそうです。三月には下草かり、四月には開花調査や自生地での案内や説明、六月には種調査、八月、二回めの下草かり、十月、株調査など、一年間に主にこの五つを行うそうです。

エヒメアヤメは、昔からこの沼田西で大切にされてきている花です。しょう来、エヒメアヤメを絶めつさせないために、木を植えたり、下草かりをしたりして、自然がいっぱいの里山づくりに今からばくも取り組みます。